

どっちの始末Show

ゲームデザイン: 円卓P

イラスト: 鍋野たま

グラフィックデザイン: 長谷川登鯉

プレイ人数: 3~5人

プレイ時間: 20分

対象年齢: 10才~

ストーリー

我が社が誇る優秀な課長であるあなたは、出来ない部下の不始末を、正確に、丁寧に、過不足なく上司に報告する義務と能力を有しています。中でもとりわけ求められるのはスピード感、すなわち迅速な伝達です。

報告の遅滞はすなわち我が社への反逆に他なりません。これは社への忠誠を示し、ライバルを蹴落とす絶好の好機なのです!

ゲーム概要

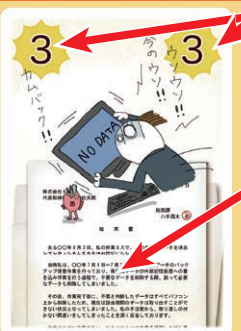
どっちの始末Showは、大企業の優秀な課長となってダメダメ部下の始末書を上司に提出するゲームです。最も緊急度の高い始末書を報告できなかった課長は管理能力の欠如から減給処分を下されます。

一方で、多忙な上司は緊急度の低い始末書を容易に受け取ってはくれません。先に提出すべき始末書はどっちなのか……? 優秀な中間管理職であるあなたならきっとそれが分かるはず!

内容物

始末書カード60枚

(1,2,3,4,5,6,7,8,10,12それぞれ6枚ずつ)



緊急度
カードの強さです。失点として得た場合、数字が失点(減給〇ヶ月)になります。

テキスト
内容はゲームのルールやプレイには影響しません。読み上げるとちょっと切なくなってきます。

ゲームの流れと終了条件

①セットアップ

②カードのシャッフルと分配

③PDCAサイクルフェイズ。カードの交換

④提出フェイズ。カードの提出

A.カードを1枚出す場合

B.カードをセットで出す場合

手札が残り1枚になるまで④を繰り返す。

⑤最終提出フェイズ。最後のカードの提出と勝敗判定

※失点の計算方法

以後②~⑤を繰り返します。②~⑤までの一連の処理を以後「ラウンド」と呼びます。

誰か一人が減給による終了条件を満たしたラウンドでゲームは終了します。終了条件はショートゲームで減給12ヶ月、ミドルゲームで減給18ヶ月、ロングゲームで減給24ヶ月です。

①セットアップ

3人で遊ぶ場合、1~12までのカード10枚1セットを取り除いてプレイします。それ以外の場合は全てのカードを使います。

カードを裏向きによくシャッフルして、各プレイヤーに1枚ずつ配って表向きにします。これは各プレイヤーの最初の失点になります。失点については⑤の最後で述べます。

最も緊急度の高いカードを失点として受け取ったプレイヤーが最初のラウンドのスタートプレイヤー(要注意社員)になります。そうしたプレイヤーが複数いる場合、その中でランダムにスタートプレイヤーを決めてください。

②カードのシャッフルと分配

全てのカードを集めて裏向きによくシャッフルしてください。各プレイヤーに10枚ずつ裏向きにカードを配ります。配られたカードは手札として他のプレイヤーに見えないように扱ってください。

カードが足りない場合は、なるべく多くの枚数を均等になるようにカードを配って下さい。余ったカードは裏向きのまま脇によけておきます。

③PDCAサイクル(パツと見て・ダメそうな・カードを・あげる)フェイズ

各プレイヤーは手札から任意の2枚のカードを選び、右隣のプレイヤーに裏向きに同時に渡します。(この事案は私ではなく彼の所管だと思いませんか?)

④提出フェイズ

スタートプレイヤーは手札から任意のカードを1枚もしくは複数枚、表向きに出します(部長に始末書を提出します)。その後、スタートプレイヤーから時計回りに各プレイヤーはカードを場に出します。

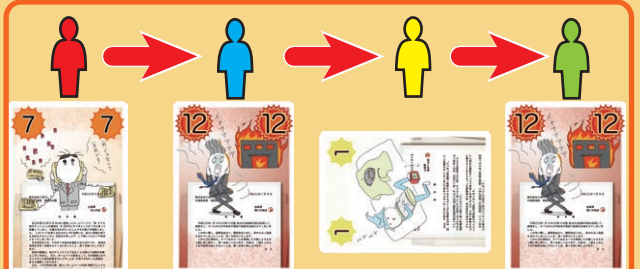
提出フェイズは各プレイヤーの手札が残り1枚になるまで繰り返し続けます。

A.カードを1枚出す場合

スタートプレイヤーは手札から任意のカード1枚を場に出します(始末書の提出)。

以後、各プレイヤーはこのフェイズで場に出された全てのカードと緊急度が同じかそれ以上のカードを1枚場に出します(多忙な部長は緊急度の低い始末書を受け取ってくれません!)。カードを出せない場合、もしくは出したくない場合は手札の中から最も緊急度の低いカード1枚を横向きで場に出します(手近な始末書を課長権限で処理します)。

全員がカードを出し終わった後、最も緊急度の高いカードを出したプレイヤーが次のスタートプレイヤー(要注意社員)になります。最も緊急度の高いカードが複数枚ある場合は後から出されたカードをより高いものとして扱います(報告が遅れた部下に上司が向ける眼差しは概して冷たいものです)。



カードを1枚出す場合の例

赤のプレイヤーはスタートプレイヤーなので任意の1枚を場に出します。青のプレイヤーは7以上の12を場に出しました。

黄色のプレイヤーは場に出された中で最も緊急度の高いカードである12以上のカードがなかったので1を横向きで場に出しました。

緑のプレイヤーは12を場に出しました。最も緊急度の高いカードを場に出したのは青と緑のプレイヤーですが、緑のプレイヤーが後にカードを出したので、次のスタートプレイヤーは緑になります。

B.カードをセットで出す場合

スタートプレイヤーは手札に同じ緊急度のカードが複数枚ある時、それらを**セット**で場に出すことができます。(3+3,4+4+4などの同じカードの組み合わせがセットです。7+8,5+6+7などはセットではありません)

ただし、以下の条件を満たしている必要があります。

- これまでのラウンドでいずれかのプレイヤーが**一度でも横向きにカードを場に出している。**
- セットを場に出した後、**手札が1枚以上残らなければならない。**

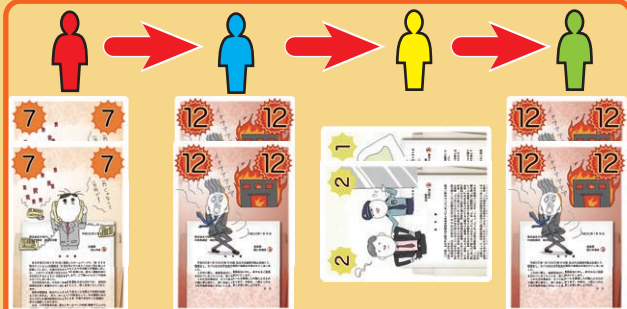
例:手札に5が3枚ある場合、スタートプレイヤーは5を1枚出すか、2枚セットで出すことができます。手札が0枚になってしまうので3枚セットで場に出すことはできません。



以後、各プレイヤーはこのフェイズで場に出された全てのセットの中で最も緊急度の高いセットと「**同じ枚数**かつ「**同じかそれ以上の緊急度**」のセットを場に出します。(例:スタートプレイヤーが8+8のセットを出した場合、次のプレイヤーが出せるのは8+8,10+10,12+12のセットです。6+6や8+10や12+12などは出せません)

セットを出せない場合、もしくは出したい場合は、**スタートプレイヤーが場に出したカードと同じ枚数のカードを緊急度の低い方から横向きで場に出します。**

全員がカードを場に出し終わった後、最も緊急度の高いカードのセットを出したプレイヤーが次のスタートプレイヤーになります。最も緊急度の高いカードが複数セットある場合は**後から出されたセットをより大きいものとして扱います。**



カードをセットで出す場合の例

赤のプレイヤーは7を2枚セットで場に出します。

青のプレイヤーは7以上の12を2枚セットで場に出しました。

黄色のプレイヤーは場に出された最も緊急度の高いセットである12以上の2枚セットがなかったため1と2を横向きで場に出しました。

緑のプレイヤーは12のセットを場に出しました。最も大きなカードを場に出したのは青と緑のプレイヤーですが、緑のプレイヤーが後にカードを出したので、次のスタートプレイヤーは緑になります。

※ **場に出されたカードは片付けず**

にそのまましておきます。場に出したカードはずらして重ねるようにして全てのプレイヤーから緊急度が見えるように配置します(横向きにカードを複数枚を出す場合、緊急度の高いカードが手前に来るように並べるとミス防止に役立ちます)。

手札の残り枚数が2枚以上なら提出フェイズを繰り返します。



⑤最終提出フェイズ

各プレイヤーの手札が1枚になったところで最終提出フェイズが始まります。

スタートプレイヤーから時計回りに手札を場に出し、**最も緊急度の高いカードを出したプレイヤー1人**がこのラウンドで敗北します。同じ緊急度のカードが複数枚ある場合は**後から出たカードをより高いものとして扱います**(より報告が遅れた管理職は職責を問われます)。

敗北したプレイヤーは失点としてカードを受け取ります。「**最後に自分が出したカード**」と「**最終提出フェイズで場に出たカードの中で最も緊急度の低いカード1枚**」(ライバルからの責任転嫁です!)を失点として受け取ります。敗者は1ラウンドで2枚のカードを失点として受け取るようになります。

結果、失点が規定点に達したらゲームは終了します。その時点で最も失点の少ないプレイヤーが勝利します(さすがは我が社の課長です!)

最も失点の少ないプレイヤーが複数いた場合は失点として受け取ったカードの枚数が最も少ないプレイヤーが勝利します。それも同数だった場合は勝利をわかちあいます。

失点が規定点に達していない場合は次のラウンドを始めます。

※失点の計算方法

失点として受け取ったカードは、数字ごとに列を作って自分の手前に並べます(失点は1点につき減給1ヶ月です)。

失点として受け取ったカードの**1枚目は0点です**(人間誰しもミスはあるものです!)。同じカードを複数枚受け取ると、**2枚目以降は緊急度の数字に等しい失点を受けます**(再発防止策は検討したのですか?)。



上図のようにカードを受け取った場合、1枚目は0点、2枚目以降から緊急度に等しい失点を受けるので総失点は0+5+5+5+0+0+7の17点になります(減給17ヶ月)。

奥付

製作:数寄ゲームズ

印刷:グラフィック様 ラクスル様

素材提供

Icons made by Lorc,
<http://lorcblog.blogspot.com>

スペシャルサンクス

やまいもさん テストプレイに協力してくれた方々

ルール確認・内容物不足などの連絡先
数寄ゲームズブログ

<http://sukigames.seesaa.net/>
horiken02000@gmail.com